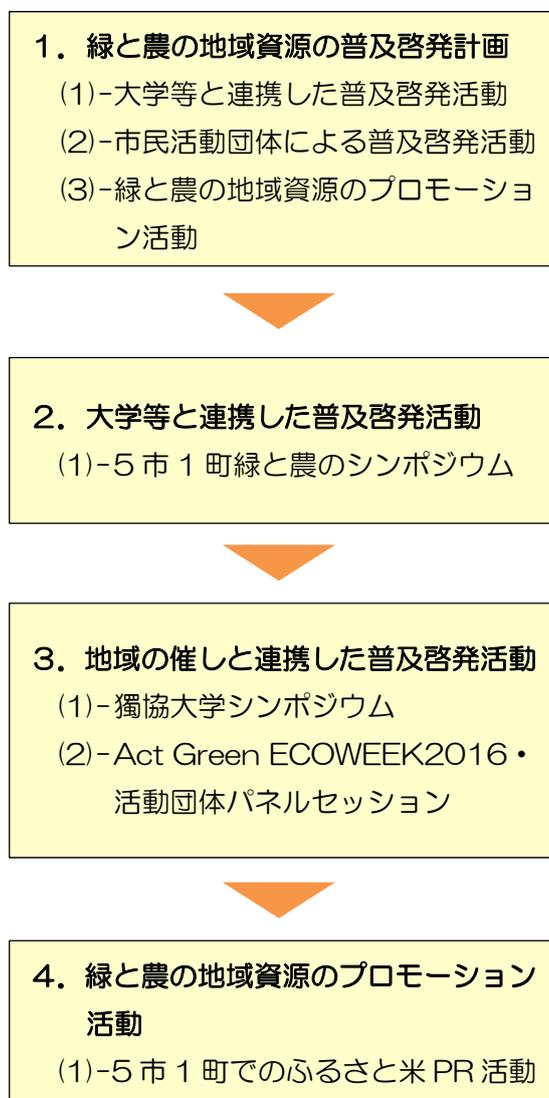


IV

緑と農の地域資源の 普及啓発計画の検討

「緑と農の地域資源の普及啓発計画の検討」の概要と流れ



図IV-1 取組-3の概要と流れ

IV. 緑と農の地域資源の普及啓発計画の検討

1. 緑と農の地域資源の普及啓発計画

昔から人の営みとともに守られた農地や屋敷林などの緑や農の資源の価値が、地域住民や学校、企業、農家などが再確認され、地域の農地や緑地を守る活動が活発になるとともに、地産地消の活動への賛同・参加から、5市1町の環境資源の保全につなげていく事を目的に「大学等と連携した普及啓発活動」及び「地域の催しと連携した普及啓発活動」と、「地域のプロモーション活動」を計画、実施した。

(1) 大学等と連携した普及啓発活動

タイトル	5市1町緑と農のシンポジウム・活動団体パネルセッション
日時	2016年10月29日(土) 13時30分～17時30分
場所	獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂・セミナースペース
対象	草加市及び周辺の市町の住民、学生、教職員、市民活動団体関係者等
主な内容	基調講演、パネル討論、5市1町活動団体パネルセッション

(2) 市民活動団体による普及啓発活動

タイトル	Act Green ECO WEEK2016 エコ活動展
日時	2016年10月22日(土)～23日(日) 9時～22時 (23日は17時まで)
場所	イオンレイクタウン mori 1階 花の広場
対象	イオンレイクタウンに買い物に来られた越谷市及び周辺の市町の住民、「Act Green ECO WEEK2016」見学者、市民活動団体関係者
主な内容	5市1町活動団体のパネル展示、緑と農に関する魅力スポットの参加型マップの作成

(3) 緑と農の地域資源のプロモーション活動

タイトル	5市1町でのふるさと米活動
主な内容	越谷市「越谷ふるさと米」、吉川市「吉川のしずく」、松伏市産米の展示、販売店等のPR

① 大学等と連携した普及啓発活動と併せたプロモーション活動

日時	2016年10月29日(土) 13時30分～17時30分
場所	獨協大学 天野貞祐記念館 セミナースペース
対象	草加市及び周辺の市町の住民、学生、教職員、市民活動団体関係者等

② 親子を対象とした環境学習企画と併せたプロモーション活動

日時	2016年11月5日(土) 午前の部 9時～12時 午後の部 13時～16時
場所	まつぶし緑の丘公園「芝生ゾーン」
対象	5市1町の小学生とその家族

2. 大学等と連携した普及啓発活動

(1) 5市1町緑と農のシンポジウム



2016年度獨協大学環境共生研究所シンポジウム

緑と農を 活かした まちづくり

埼玉県東南部における地域資源活用の試み

2016年10月29日[土]
13:30-17:30 (開場13:00) **入場 無料 (予約不要)**

会場 獨協大学天野貞祐記念館大講堂

基調講演 犬井 正氏 獨協大学学長
パネリスト 高橋 努氏 越谷市長
高村 博氏 JA越谷市代表理事組合長
市川 友英氏 秀明大学観光ビジネス学部
古谷 愛子氏 NP O法人オリサネット
国土交通省都市局公園緑地・景観課より
司 会 浜本 光紹氏 獨協大学環境共生研究所 所長

主催：獨協大学環境共生研究所 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 TEL: 048-946-2862
<http://www.dokkyo.ac.jp/kankyoken/>
共催：埼玉県東南部地域5市1町緑と農の地域資源活用協議会
東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通 東武スカイツリーライン「松原団地駅」下車 西口より徒歩約5分
[松原団地駅] 2017年春「獨協大学前」専用出口に改称予定 ※当日は朝乗車の混雑がご心配な場合がございます。ご乗車は、公共交通機関のご利用をお勧めいたします。



図IV-2

2016年度獨協大学環境共生研究所シンポジウム

緑と農を活かしたまちづくり

埼玉県東南部における地域資源活用の試み

埼玉県東南部の5市1町(越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)は、平坦な地形や河川・水路などの水環境、一定の広さを持った農地など、よく似た環境条件を備えている。こうした地域に存在する自然環境や農業資源には、農産物のブランド化や地産地消、観光など、その活用の仕方によっては地域経済の活性化をもたらさうする潜在力がある。また農業には、洪水などの自然災害を防ぐ機能もあることから、これを維持・促進することは地域防災という点からも望ましい。5市1町には実に多くの有用な自然環境や農業資源が存在しており、この地域の魅力をさらに高めて活性化を図るには、自然環境や生態系を回復・維持していくことと同時に、既存の地域資源を活用したまちづくりを進めていくことが重要であろう。本シンポジウムでは、5市1町に存在する「緑」と「農」という地域資源に着目し、自然環境や生物多様性の回復、および農業や観光といった分野の発展を実現していくためには、地域全体としてどのような取り組みを進めていくべきかを議論する。

開催日時 2016年10月29日(土) 13時30分～17時30分

会場 獨協大学天野貞祐記念館大講堂

プログラム

①**基調講演** 犬井 正氏 獨協大学学長 (パネリストとしても登壇予定)

②**パネル討論** 【パネリスト】

高橋 努氏 越谷市長
 島村 博氏 JA越谷市代表理事組合長
 市川 友英氏 秀明大学観光ビジネス学部
 古谷 愛子氏 NPO法人オリザネット
 国土交通省都市局公園緑地・景観課より

【司会・コーディネーター】
 浜本 光紹氏 獨協大学環境共生研究所 所長

主催：獨協大学環境共生研究所
 共催：埼玉県東南部地域5市1町緑と農の地域資源活用協議会

図IV-3

①計画の概要

タイトル	5市1町緑と農のシンポジウム・活動団体パネルセッション
目的	<ul style="list-style-type: none"> 5市1町の「緑」と「農」という地域資源に着目し、自然環境や生物多様性の回復、および農業や観光といった分野の発展を実現していくために、地域全体としてどのような取組をすすめていくべきかを議論する。 5市1町それぞれの市町で緑や農やその他の環境をテーマに活動している様々な市民団体を紹介することで、5市1町の緑や農の豊かさと、その環境を守っている団体の活動を知ることにより、それらの自然資源の大切さを広く知って頂く。
テーマ	緑と農を活かしたまちづくり —埼玉県東南部地域における地域資源活用の試み—
内容	①基調講演 犬井 正氏 獨協大学 学長（前 獨協大学環境共生研究所所長） ②パネル討論 【パネリスト】高橋 努氏 越谷市長 島村 博氏 JA 越谷市代表理事組合長 市川 友英氏 秀明大学観光ビジネス学部教授 古谷 愛子氏 NPO 法人オリザネット 事務局長 高橋 涼氏 国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長補佐 【司会】 浜本 光紹氏 獨協大学環境共生研究所 所長 ③5市1町活動団体パネルセッション 【参加団体】 草加市 草加環境推進協議会 草加市 埼玉県生態系保護協会草加・八潮支部 吉川市 環境ネットワークよしかわ 八潮市 大曽根の湿地ビオトープを守る会 越谷市 特定非営利活動法人 越谷ふるさとプロジェクト 越谷市 元荒川の自然を守る会 越谷市 越谷アリタキ緑の会 三郷市 みさと環境ネットワーク 松伏町 松伏の川をきれいにする会 ④参加型マップ（通称：ガリバーマップ）の作成
参加者	154名
開催日時	2016年10月29日（土）13:30～17:30
会場	獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂・セミナールーム
告知方法	ポスター・チラシ、電車の中吊り広告、HP

②募集状況
○広報掲載状況

組織名	種別	掲載媒体名（所在）
獨協大学	チラシ	自治体、教育機関等への送付、新聞折り込み等
		参考 http://www.dokkyo.ac.jp/PDF/90d1b4055d7b4e19b91ec97675f85d2d.pdf
	ポスター	東武伊勢崎線（スカイツリーライン）中吊り、駅貼り
獨協大学	HP	獨協大学 イベント 2016年
		参考 トップページ： http://www.soka-bokkurun.com/ 掲載ページ： http://www.dokkyo.ac.jp/event/detail/id/6882/publish/1/
越谷市	HP	越谷市公式HP
		参考 トップページ： https://www.city.koshigaya.saitama.jp/ 掲載ページ： https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kanko/event/koza/noutomidoriwoik.asitamatudukuri.html （削除済み）
越谷市	HP	越谷市観光協会HP
		参考 トップページ： http://www.koshigaya-sightseeing.jp/ 掲載ページ： http://www.koshigaya-sightseeing.jp/info/20161029_dokkyo/ （削除済み）
URリンケージ	HP	株式会社 URリンケージ インフォメーション
		参考 トップページ： https://www.urlk.co.jp/ 掲載ページ： https://www.urlk.co.jp/news/ （削除済み）

広報掲載例 1：獨協大学公式HP

The screenshot shows the website for Dokkyo University. The main content is an event page for the 2016 symposium. The page includes a navigation menu, a breadcrumb trail (HOME > イベント 2016年), and a sidebar with a year selection menu. The main text describes the event's theme of utilizing local green and agricultural resources in Maichūzūri, Saitama. It lists the date (October 29, 2016), time (13:30-17:30), and venue (Dokkyo University Tachibana Memorial Lecture Hall). A list of speakers and moderators is provided, including university officials and local community members.

図IV-4

広報掲載例 2 : 越谷市観光協会公式HP



図Ⅳ-5

広報掲載例 3 : URリンケージ公式HP



図Ⅳ-6

③実施結果

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5市1町に存在する「緑」と「農」という地域資源に着目し、自然環境や生物多様性の回復、および農業や観光といった分野の発展を実現していくためには、地域全体としてどのような取り組みを進めていくべきかについて議論した。 ・5市1町の自然環境を舞台に活動している環境団体が、シンポジウムの来場者や緑や農に関心がある住民に対して、これまでの活動を報告し、農や緑への関心を深めてもらった。
<p>実施内容①</p>	<p>基調講演（写真Ⅳ-1～4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬井学長をはじめ、パネリストにより5市1町の「緑」と「農」の地域資源についての基調報告及びパネル討論を実施。その後来場者からの質問を元にディスカッションを行った。
<p>実施内容②</p>	<p>パネル討論（写真Ⅳ-5～8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬井学長をはじめ、パネリストにより5市1町の「緑」と「農」の地域資源についての基調報告及びパネル討論を実施。その後来場者からの質問を元にディスカッションを行った。
<p>実施内容③</p>	<p>5市1町活動団体パネルセッション（写真Ⅳ-19～24）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町で活動している環境団体の数団体にパネルを作成してもらい、会場周辺やロビー等で展示を行った。 ・パネル討論の開催前や休憩中には展示パネルの前で活動団体のメンバーによる紹介・交流を行った。 ・なお、プレセッションとして、10/21（金）～23（日）に越谷レイクタウン アクトグリーンエコウィーク 2016 においても同様の展示を行った。
<p>実施内容④</p>	<p>参加型マップ（通称：ガリバーマップ）の作成（写真Ⅳ-25～26）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5市1町の大型地図（AO）を用意し、来場者に5市1町の緑と農に関する自然環境や自然風景、生き物の生息場所等についてのお気に入りポイントやコメントの書き込みを行ってもらい、「緑」と「農」に関する参加型マップを作成した。
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を用いた告知が奏功し、5市1町の多くの環境団体や関心が高い方の参加があった。シンポジウムだけでなく、パネルセッションも盛況であり、近隣住民が地域の緑や農への関心が高いことが伺えた。

④当日の様子

○基調講演



写真IV-1 基調講演



写真IV-2 基調講演

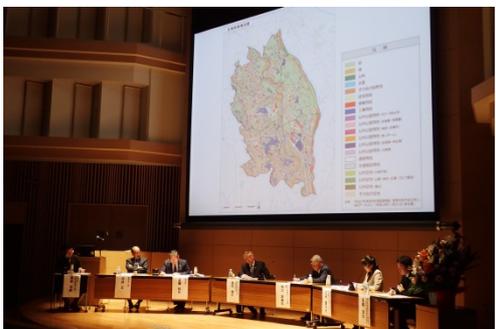


写真IV-3 基調講演



写真IV-4 基調講演

○パネル討論



写真IV-5 パネル討論



写真IV-6 パネル討論



写真IV-7 パネル討論



写真IV-8 パネル討論

⑤アンケート実施

○アンケート用紙

2016 年度環境共生研究所シンポジウム アンケートのお願い

今後の企画の参考にするために、アンケートのご協力をお願いいたします。

1. 性別 : (男・女)
2. 年齢 : (10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上)
3. 所属 : () 学生の場合は学科、学年を記入してください。
4. どこで開催を知りましたか。(複数回答可)
(電車の広告・新聞広告・市広報・ポスター・チラシ・友人から・先生から・その他())
5. 企画について
 - * 報告内容について
(満足 ・ やや満足 ・ ふつう ・ やや不満 ・ 不満)
<具体的に>
 - * 報告時間について
(適切・もっと長く・もっと短く・その他())
 - * 討議内容について
(満足 ・ やや満足 ・ ふつう ・ やや不満 ・ 不満)
<具体的に>
 - * 討議時間について
(適切・もっと長く・もっと短く・その他())
6. シンポジウム全体について、お気づきの点などございましたらご記入ください。
7. その他、ご要望などございましたらご記入ください。(今後の企画など)

ご協力ありがとうございました。

○アンケート結果

<p>参加者の属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の男女比は男性 74%女性 26%と男性が多かった。 年齢層は 60 代が 30%と最も多く、50 代～70 代以上で 70%であった。 所属は一般の方や学生のほか、周辺の自治体の職員や JA などの関係団体職員、環境活動団体の方が見られた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="491 456 865 824"> <p>参加者の男女比</p> </div> <div data-bbox="970 456 1343 824"> <p>参加者の年齢層</p> </div> </div>
<p>報告内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 報告内容については 73%が満足（やや満足を含む）、5%がやや不満であった。 <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な自然の必要性が分かった。 JA越谷の農業の取組が分かった。 地元の農協の取組、観光に対する考え方が分かった。 散歩マーケット、花エリア等、新たなまちづくりの視点が得られた。 地域活性策を学べた。 多角的な視点の報告が聞けた。 他 <div style="text-align: right;"> <p>報告内容について</p> </div>
<p>討議内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 討議内容については 73%が満足（やや満足を含む）、5%がやや不満であった。 <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりのイメージが具体化、共有化された。 幅広い分野の専門家同士の意見交換が興味深かった。 高橋越谷市長、市川秀明大学観光ビジネス学部教授の話が分かりやすかった。 現状の課題を浮き彫りにした上で、「自然が人々の心をどう動かすか」を焦点に話をしている分かりやすかった。 様々な考えが聞けて良かったが、もっと時間を長く設けて欲しかった。 他 <div style="text-align: right;"> <p>討議内容について</p> </div>

**シンポジウム
全体について
(自由意見)**

【良かった】

■登壇者について

- ・犬井学長の話は共感できる事が多く、多角的視点の話で大変有意義だった。
- ・高橋越谷市長の来訪に驚き、ありがたいと思った。
- ・島村JA越谷組合長の報告が興味深かった。
- ・市川教授の観光から見た緑と農の活かし方は共感できる事が多かった。
- ・市川教授の話は身近なレイクタウン等を例にしている分、分かりやすかった。
- ・市川教授のはっきりした方向性は参考になった。

■内容について

- ・越谷、吉川、草加などの地域の事をよく調べていて分かりやすい。実例が良かった。
- ・農、観光、緑の観点での報告が分かりやすかった。
- ・様々な視点・立場からの発表があり、多面的に考えるきっかけとなった。
- ・はじめは堅苦しさを感じたが、パネル討論では深い話になった。このシンポジウムを引き続き行って欲しい。
- ・今後に活かせる話を聞く事が出来た。

【意見・要望】

■テーマ・事例について

- ・サブタイトル（埼玉県東南部地域における地域資源活用の試み）についての内容が少なかった。
- ・テーマが大きすぎてかみ合わないことがあった。2～3回に分けて開催しても良い内容だった。
- ・1つの自治体の関係者が多く、他市町の事例が少なかった。

■緑と農のつながりについて

- ・緑と農のつながりがカエルだけだったのが残念だった。まちづくりに欠かせない緑政と農政の財政の話が聞きたかった。

■生物多様性について

- ・生物多様性の観点をもっと考えるべき。花が沢山あれば良いという考え方は、生物多様性や自然保護の観点からは賛成できない。

■地域の活性化について

- ・経済活性化、地域活性化の観点からこれからどうしたら良いかを、全ての方に具体的に話をしてほしかった。
- ・観光人口流入の実現に向けた討論をして欲しかった。
- ・5市1町が協力して、観光資源を共有し、日帰り観光地として確立して欲しい。

○アンケート集計データ

【環境共生研究所シンポジウム ～緑と農を活かしたまちづくり～ アンケート集計】

1.性別

男性	35	74%
女性	12	26%
合計	47	100%
未記入	0	

2.年齢

10代	0	0%
20代	3	6%
30代	6	13%
40代	5	11%
50代	11	23%
60代	14	30%
70代以上	8	17%
合計	47	100%
未記入	0	

3.所属

・一般	・会社員(2件)
・オープンカレッジ(2件)	・英語学科3年
・さいたま市職員	・草加市
・八潮市市役所	・松伏町役場
・春日部市役所農政課	・JA
・埼玉県生態系保護協会越谷支援部	・草加シルバー人材センター
・越谷市環境サポーター	・越谷環境管理事務局
・NPO越谷ふるさとプロジェクト	

4.どこでシンポジウムの開催を知りましたか。(複数回答可)

チラシ	14	26%
その他	11	21%
市広報	10	19%
ポスター	8	15%
電車広告	6	11%
新聞広告	2	4%
友人	2	4%
先生	0	0%
合計	53	100%
未記入	4	

その他	
・大学広告	・5市町協議会
・構内掲示板	・越谷市観光政策課
・大学HP(4件)	・家族
・チラシ(2件)	・東部野田線
・所属団体	

5.企画について*報告内容について

満足	17	39%
やや満足	15	34%
ふつう	10	23%
やや不満	2	5%
不満	0	0%
合計	44	100%
未記入	3	

具体的な内容	
・持続可能な自然の必要性がよく分かりました。	
・越谷市在住の主婦ですが、JA越谷の方の越谷の農業のとりくみがわかって大変よかった。	
・地元の取り組み(農協)観光に対する考え方など勉強になりました。	
・散歩マーケットや「花エリア」など、まちづくりの新たな視点が得られて良かった。	
・地域活性化策を学べた。	
・多角的な視点からの報告に、ハッとすることも多々ありました。	
・興味深い話を頂いた上、各方々の話を紐付けて関連づけて聴講できました。	

5.企画について*報告時間について

適切	28	65%
もっと長く	2	5%
もっと短く	12	28%
その他	1	2%
合計	43	100%
未記入	4	

その他	
パネリスト3名の事前報告(?)は中途半端(時間が短く〇〇〇な印象)	
長い人がいた	

5.企画について*討議内容

満足	14	38%
やや満足	13	35%
ふつう	8	22%
やや不満	2	5%
不満	0	0%
合計	37	100%
未記入	10	

具体的な内容

- ・ 5市1町の緑のネットワーク化に向けた研究の提案
- ・ まつづくりのイメージが具体化共有化されました。
- ・ 幅広い分野の専門家同士の意見交換は興味深いものでした。
- ・ 高橋さん、市川先生のお話が非常に聞きやすく、わかりやすかったです。
- ・ 現状の課題を浮き彫りにした上で、「自然が人々の心をどう動かすか」ということを焦点にはなされていてわかりやすかったです。
- ・ 具体的 総合内容？
- ・ 5市1町という視点での統一が今一つと感じません。
- ・ 様々な考えが聞けて良かったが、人数がいる分、もっと長く設けてほしかった。

5.企画について*討議時間について

適切	25	71%
もっと長く	6	17%
もっと短く	3	9%
その他	1	3%
合計	35	100%
未記入	12	34%

その他

質問に対する討議時間を長くするとよいと思う。

6. シンポジウム全体について、お気づきの点などございましたらご記入ください。

良かった（10件）

- ・高橋越谷市長の来訪はびっくり、ありがたい
- ・犬井さんのまとめは大変良かった
- ・多面的な話が聴けた（よかった）
- ・いろいろなことを理解することができてよかったと思います
- ・越谷や吉川、草加などの地域をよく調べていて本当にわかりやすい。実例が良かったです
- ・JA越谷組合長の報告が興味深かった
- ・農・観光・緑の観点での報告わかりやすかったです
- ・さまざまな視点からの発表であり 多面的に考えるきっかけになりました
- ・はじめは堅苦しさも感じたが時間の経過とともにほぐれ パネル討論では（少しだけ）深い話に？ようにおもいました 引き続きやってほしいシンポです
- ・犬井学長の基調講演、共感できること多数あり 多角的視点での話、大変有意義でした

勉強になった（5件）

- ・さまざまな立場の方からの発表で勉強になりました
- ・市川先生の観光の観点から見た緑と農の活かし方は共感できることが多く勉強になりました
- ・パネリストの秀明大学の先生のお話は凄く勉強になりました。よく行くレイクタウンなどを例に挙げてお話してくれたのは分かりやすかったです。
- ・すごくためになって今後に生かせるお話もお聞きすることができました ありがとうございます
- ・我々にとって本当に参考になったのは 市川先生のはっきりした方向性だと思う

講演時間が長い（4軒）

- ・全体の時間はもう少し短い方が良い
- ・13：30-17：45までの4hは少し長く感じました
- ・全体的に少し長いと思います・13：30-16：00が限界かな
- ・基調講演、事例報告まではよかったがパネルディスカッションの中での事例報告は長すぎるように思えた

講演内容について

- ・サブタイトルの内容が少なかった パネラーが一つの市関係者が多い 他市町の事例等が少ない
- ・テーマが大きく議論がかみ合わないことがあった 報告自体はいづれもよい話なので 2、3回に分けてもよいと思った
- ・現状の制度の説明ではなくもっと経済活性化地域活性化の観点から具体的にこれからどうしたらよいかということすべての方に話をしていただけたらよかったです
- ・今回の農と緑のシンポジウムに関連性をもっと深くしてほしいかった
緑の緑地化がCO2削減の原点から環境保全を語っていたが、緑地と農政問題のつながりがカエルだけでしかつながっていなかった 緑地課と農政は街づくりに欠かせない財政の話がでなかった
5市1町の人口減と税収の減少があることから観光問題をもう少しツッコミしてほしいかった
人口流入問題（対策）は？観光人口流入対策の実現に向けた討論が欲しかった

意見・要望（9件）

- ・高齢化による農家の廃業が多くなると思われますが その対策はどうなるのか
- ・5市1町は別々ではなく互いに協力し合いそれぞれの観光資源を共有し 日帰り観光地として確立してほしいです
- ・生物多様性の観点をもっと考えるべきだと思う 花がいっぱいあればよいという考え方は生物多様性や自然保護の観点からはあまり賛成できない
- ・本にしてください
- ・チラシにタイムスケジュールを載せてほしい
- ・照明のコントロールができていない（休憩中は全体の照明を明るくしてほしい）寒い（途中まで）
- ・??パネラー 迎える田中市長不在は手落ち 紹介「〇〇氏」よりも「〇〇様」が失礼？ 全くなしでもよいのでは
- ・途中、ペットボトルの水くらい飲みたかった 飲禁止で疲れました 長時間なので水くらい飲みながら参加するのはどうでしょうか
- ・スマホをみながら平気で中座する、このようなことは講師に対しても失礼であり 聴衆に対しても迷惑である

7.その他、要望など

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 学生の発表をからめて？なフォーラムを検討願えればと思う • 5市1町の緑と農を活かしたま・ちづくりのシンポジウムであり学生の方に聞いてほしかった。5市1町の連携進めてください • 農学の多面的機能の一つである、医療・福祉分野と農業分野との共働についてのシンポジウムを希望します • 今度はもっと方向性のある方のお話を伺いたい • 5市1町シンポジウムであれば、越谷以外の事例発表も聞きたかった • 空き家シャッター商店街に関するまちづくりシンポジウム • 地域ブランド力強化策について • 犬井先生、島村先生、古谷先生実践者のお話は心に響きました
私も環境保全農業（自然農）を通してさらに実践を積みたいと思います • 集客・周知にもっと力を入れてほしい • スケジュール感がない・市川先生の話は分かりやすくチャレンジする可能性は有り • メモを取るのに手元暗すぎ、客席照明少々欲しい・越谷学 大変勉強になった • 国土交通省の講話 やや固くてなじめず • 基調講演などパワーポイントを利用するのであれば資料の提供をお願いします • 5市1町の川をめぐる（水辺の再生）をテーマにしたシンポなどは如何でしょう • 会場の客席を消灯すると資料も見えないしメモも取るのも不便です |
|---|

3. 地域の催しと連携した普及啓発活動

(1) 獨協大学シンポジウム

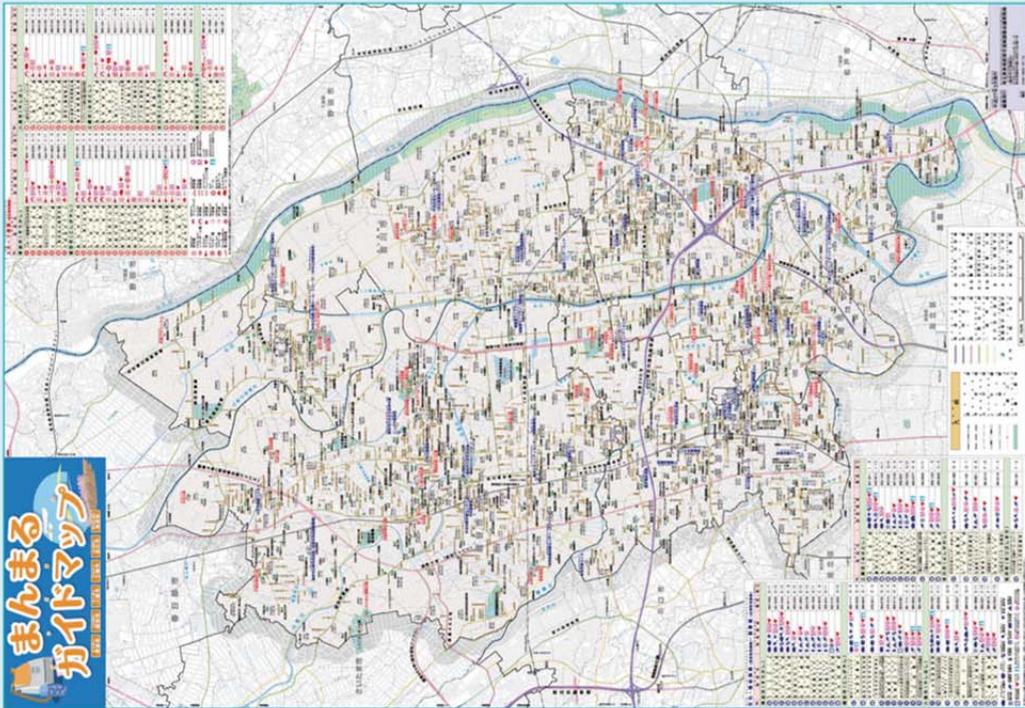
●全体レイアウト



図IV-7

●5市1町の取組み紹介

5市1町(埼玉県東南部都市連絡調整会議)の取組み



埼玉県東南部都市連絡調整会議とは

埼玉県東南部にあります草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町の5市1町では、昭和40年から東埼玉資源環境組合で可燃ごみとし尿の共同処理を行ってきました。この経緯をいかし、その他の広域的な行政課題についても5市1町で連携を図るため、平成3年5月に埼玉県東南部都市連絡調整会議を設立しました。

これまでに、図書館の広域利用をはじめ、公共施設の相互利用、重症心身障害児施設(中川の城)(現：中川の郷療育センター)の共同設置及び運営、埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム「まんまるよやく」の共同運用、ファミリーサポートセンターの相互利用など様々な事業を展開しています。なお、これまでの取り組みを紹介するため、調整会議のホームページやフェイスブックを開発していますので、ぜひ、ご覧ください。



まんまるバスツアー

5市1町では、平成18年から「まんまるバスツアー」を開催しています。このバスツアーは、5市1町の住民が自市町及び近隣市町の名所、施設等をバスでめぐり、5市1町の理解を深めるとともに、住民同士の相互交流を目的に開催しています。



まんまるよやく

「埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム(まんまるよやく)」は、埼玉県東南部5市1町(草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)にある公共施設について、従来からの施設窓口での申し込みに加え、インターネットに接続したパソコン、多機能携帯電話、携帯電話、電話(音声応答)から、使用申し込みや抽選申し込み、空き情報照会ができます。

インターネットなどで抽選や使用申し込みを行うためには、あらかじめ利用者登録が必要です。詳しくは、地図面にある5市1町の各施設にお問い合わせください。



まんまる予約ホームページ

図書館等の広域利用

5市1町では、平成4年10月から図書館広域利用を行っています。5市1町に在住・在勤・在学の方であれば誰でも5市1町内の15の公共図書館・図書室において図書を借りることができます。



公共施設の相互利用について

5市1町では、平成10年4月から公共施設の相互利用を行っています。5市1町の公共施設をより利用しやすくするため、施設使用料の割増料金の撤廃や、施設利用申請期間の統一などを行い、5市1町に在勤・在勤・在学の方は、ほぼ同じ条件で文化会館・野球場・テニスコート・児童館などを利用できます。

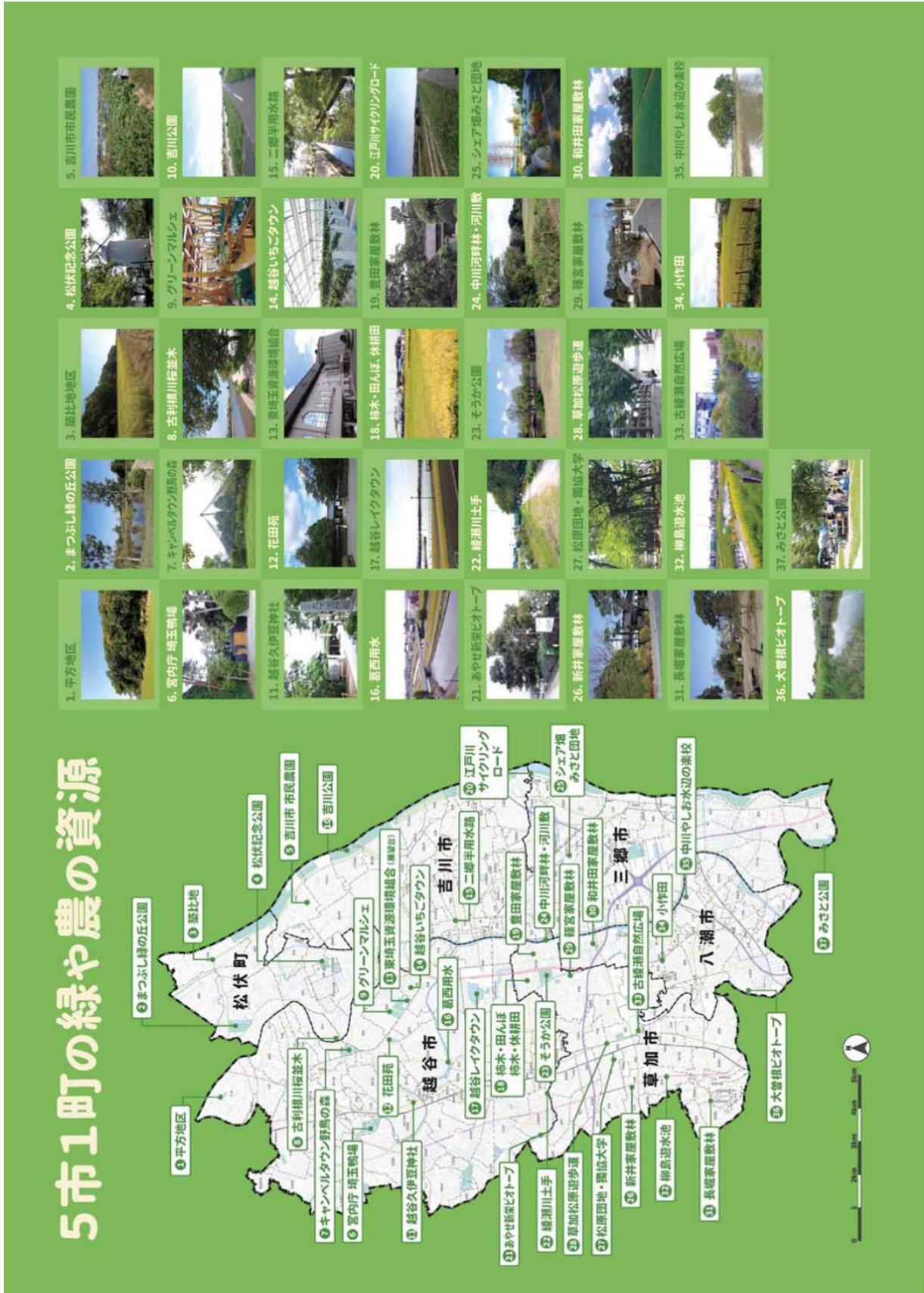
ファミリー・サポート・センターの相互利用

5市1町では、平成21年1月から、各市町のファミリー・サポート・センターの相互利用を行っています。ファミリー・サポート・センターとは、地域において育児の援助を受けたい人(利用会員)と行いたい人(提供会員)が会員となり、育児について助け合う会員の組織です。5市1町に在住・在勤の方は5市1町の自分の所属するファミリー・サポート・センターを利用できます。



図IV-8

●5市1町の緑や農の資源



図IV-9

●各活動団体の活動の紹介パネル



写真IV-9 草加市：草加環境推進協議会



写真IV-10 草加市埼玉県生態系保護協会草加・八潮支部



写真IV-11 八潮市：大曽根の湿地ビオトープを守る会



写真IV-12 三郷市：みさと環境ネットワーク



写真IV-13 吉川市：環境ネットワークよしかわ



写真IV-14 松伏町：松伏の川をきれいにする会



写真IV-15 越谷市：越谷ふるさとプロジェクト



写真IV-16 越谷市：元荒川の自然を守る会



写真IV-17 越谷市：越谷市自然ガイド協会



写真IV-18 越谷市：越谷アリタキの会

● 展示風景



写真IV-19 パネルセッション



写真IV-20 パネルセッション



写真IV-21 パネルセッション



写真IV-22 パネルセッション



写真IV-23 パネルセッション



写真IV-24 パネルセッション

○参加型マップの作成 (通称：ガリバーマップ)

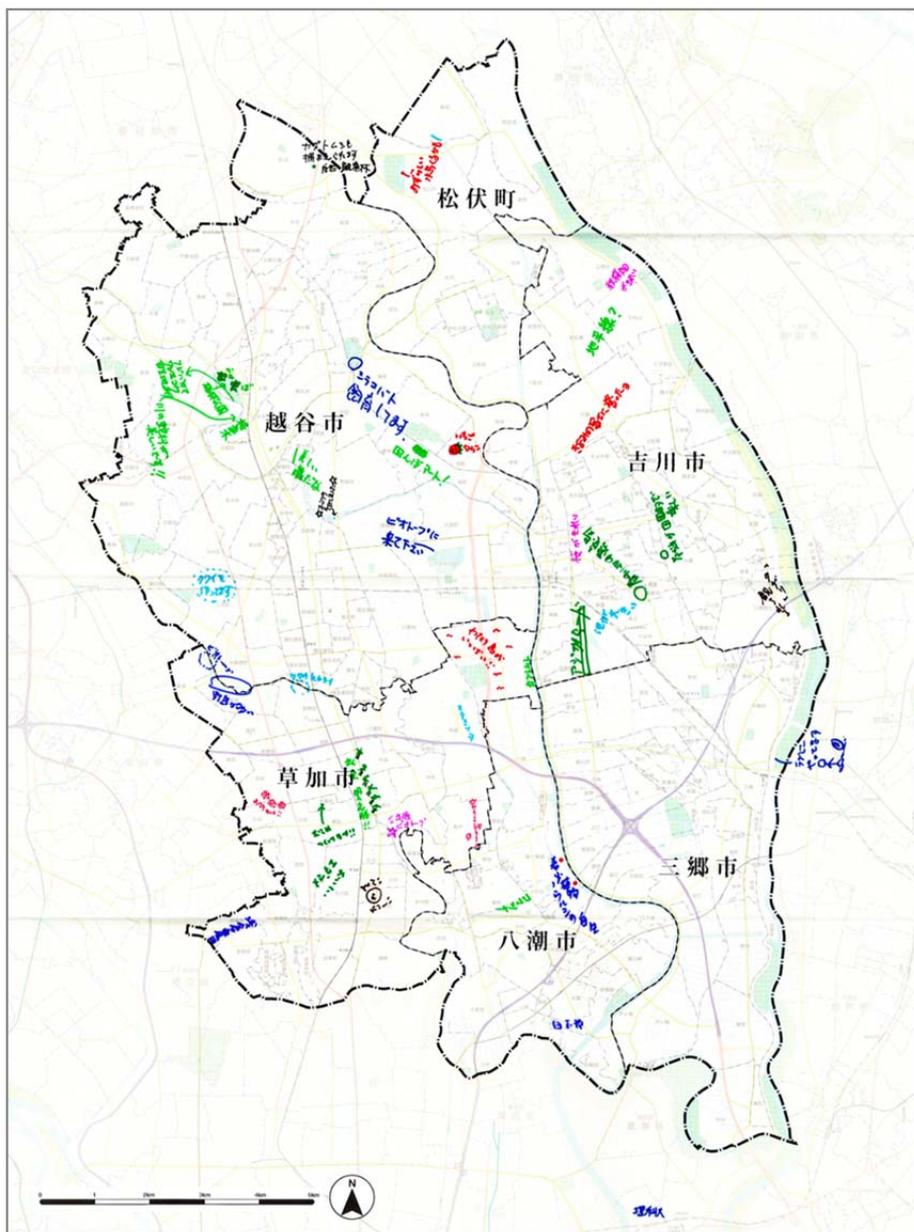


写真IV-25 参加型マップの作成



写真IV-26 参加型マップの作成

●参加型マップの記載状況



図IV-11

①計画の概要・実施結果

タイトル	Act Green ECO WEEK2016 エコ活動展
目的	・5市1町それぞれの市町で緑や農やその他の環境をテーマに活動している様々な市民団体を紹介することで、5市1町の緑や農の豊かさと、その環境を守っている団体の活動を知ることにより、それらの自然資源の大切さを広く知って頂く。
テーマ	緑・農・生きものとの共生を目指して
内容	<p>5市1町活動団体パネルセッション（写真Ⅳ-27～30）</p> <p>草加市 エコ生活ガイド草加、草加環境推進協議会、 埼玉県生態系保護協会草加・八潮支部</p> <p>吉川市 環境ネットワークよしかわ</p> <p>八潮市 大曽根の湿地ビオトープを守る会</p> <p>越谷市 特定非営利活動法人 越谷ふるさとプロジェクト、元荒川の自然を守る会 越谷アリタキ緑の会</p> <p>三郷市 みさと環境ネットワーク</p> <p>松伏町 松伏の川をきれいにする会</p> <p>参加型マップ（通称：ガリバーマップ）の作成（写真Ⅳ-31～34）</p>
来場者数	約 2,000 名
開催日時	2016年10月22日（土）～23日（日） 9:00～22:00（23日は17時まで）
会場	イオンレイクタウン mori 1階 花の広場

○5市1町活動団体パネルセッション



写真IV-27 パネルセッション



写真IV-28 パネルセッション



写真IV-29 パネルセッション



写真IV-30 パネルセッション

○参加型マップ（通称：ガリバーマップ）の作成



写真IV-31 参加型マップの作成



写真IV-32 参加型マップの作成

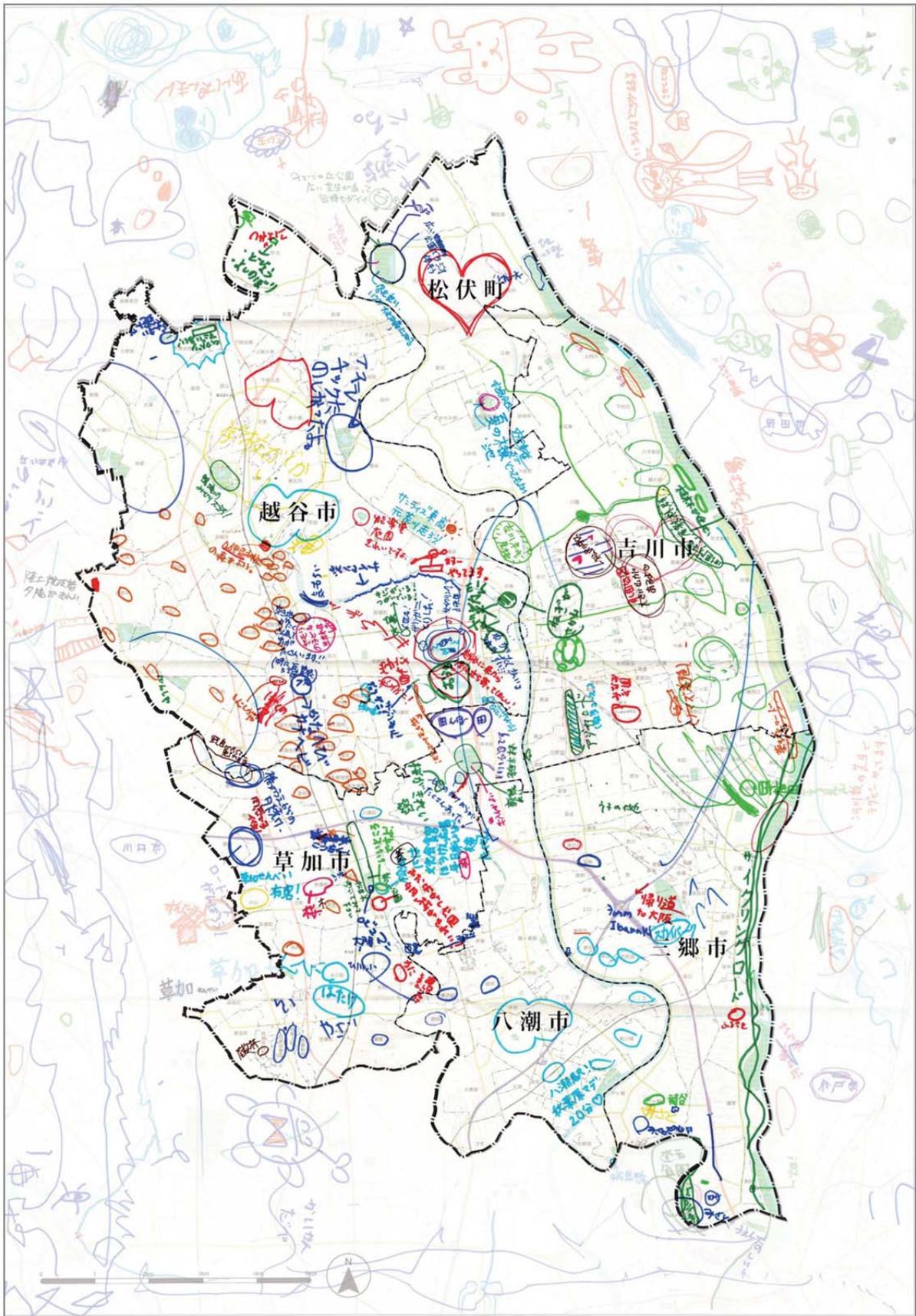


写真IV-33 参加型マップの作成



写真IV-34 参加型マップの作成

○参加型マップの記載状況



図IV-14

4. 緑と農の地域資源のプロモーション活動

(1) 5市1町でのふるさと米PR活動

① 計画の概要

タイトル	5市1町でのふるさと米活動
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な景観形成、洪水防止、生物多様性保全、気候緩和などの多面的機能を有し、食料の供給とともに市民生活の安定に果たしている農地及び水路等の農業施設等の多面的機能の重要性を多くの市民に伝え、農を活かしたより良い地域づくり、まちづくりを目指す。
内容	5市1町で収穫されたお米（越谷市「越谷ふるさと米」、吉川市「吉川のしずく」、松伏市産米）の展示とPR、農地の多面的機能の重要性の普及及び5市1町の採れたお米のPR、農地の多面的機能についての紹介（写真Ⅳ-35～42）

② 実施結果

○ 大学等と連携した普及啓発活動と併せた開催

会場	獨協大学 天野貞祐記念館 セミナールーム
開催日時	2016年10月29日（土）13:30～17:30
参加者	154名

● 会場の様子



写真Ⅳ-35 5市1町でのふるさと米活



写真Ⅳ-36 5市1町でのふるさと米活



写真Ⅳ-37 5市1町でのふるさと米活



写真Ⅳ-38 5市1町でのふるさと米活

○親子を対象とした環境学習企画と併せた開催

会場	獨まつぶし緑の丘公園「芝生ゾーン」
開催日時	2016年11月5日(土) 9:00~16:00
来場者数	約100名

●会場の様子



写真IV-39 5市1町でのふるさと米活



写真IV-40 5市1町でのふるさと米活



写真IV-41 5市1町でのふるさと米活



写真IV-42 5市1町でのふるさと米活